

令和6年度 事故概要一覧表

令和6年4月～令和6年12月

機関名 相模原市

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分			措置機関名 ①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死 亡	油 浮 遊	そ の 他				
5/28	5/28 5/29 5/30 5/31 6/3	境川		中央区 淵野辺本町			○	① 相模原市 ② - ③ 相模原市	判明 不明	5/28 に市民から町田市環境共生課 経由で、新中里橋において異臭がする 白濁水が流れているとの通報を受け、 現地調査を行った。その結果、新中里 橋下流右岸排出口から白濁水が流出 していることを確認した。発生源と考 えられる事業所への立入調査により、 白濁水を最終雨水ますへ排出してい ることが原因であると判明したため、 事業所に対し、排出の停止を指示し た。 当該事業所に対し、排水基準を満た した排水を排出するよう指導し、ま た、河川に白濁水が流出していないこ とを継続して確認した。今後も引き続 き立入検査を行い、継続的な監視及び 指導を行うこととする。	白濁水の排出 の停止を指示し た。
10/5	10/5 10/6 10/7	姥川		中央区 上溝			○	① 相模原市 ② - ③ -	判明 不明	10/5 に本市消防指令センターから、 姥川の丸崎橋で灯油のようなものが 浮いているとの通報を受けて、現地調 査を行iriょうの橋で油膜油臭を確 認した。10/5～10/7 にかけて調査し た結果、丸崎橋の左岸排出口に接続す る管路(丸崎児童館前の東側のマンホ ール)で灯油臭を確認したが、上流調 査をしたところ、以降の痕跡は確認で きず、原因の特定には至らなかった。 10/7 に丸崎橋の左岸排出口から新た な油の流出はなく、河川への影響が ないことから、本件の対応を終了とし た。	-

10/31	10/31	境川		南区 古淵			○	① 相模原市 ② 神奈川県相模原南水道営業所委託業者 ③ 相模原市	判明 不明	10/31 に市民から大量の泥水が境川へ流入していると連絡を受けて、現地調査を行った。その結果、境川の桧橋から約 80m 下流の右岸排出口から茶褐色の泥水が流出していることを確認した。上流調査を行ったところ、当該排出口から約 90m 付近で行われていた上水道の漏水修繕工事で道路側溝に土混じりの上水を道路側溝に排出していることが原因であると判明した。 工事責任者及び工事発注者に対し、道路側溝に泥水を流さないこと、また、道路側溝に溜まった泥水を回収するよう指示した。 発生源が判明し、泥水の回収を了承したため、これ以上の河川影響がないと判断し、本件の対応を終了とした。	—
12/5	12/5 12/6 12/9 12/13	境川		中央区 宮下本町	○			① 相模原市 ② 神奈川県津久井治水センター ③ —	判明 不明	12/5 に町田市から境川の高橋にてオイカワ 12 匹がへい死しているとの通報を受け、現地調査を行った。その結果、境川の上中村橋（中央区宮下本町 1 丁目）から馬場橋（中央区上矢部 1 丁目）までの約 1.1 キロメートルの範囲で、体長約 10 センチメートル未満のオイカワなど、500～1000 匹の魚のへい死を確認した。 河川水の簡易検査を実施したが、シアン等の検出はなく、原因の特定には至らなかった。県津久井治水センターがへい死魚 6000 匹を回収後、新たにへい死魚が発生している状況ではないことから、引き続き町田市と連携してパトロールを継続することにした。	—
合 計	—	—	—	—	1	0	3	—	判明 2 不明 2	—	—